# 株式会社 KMC

神奈川県川崎市

生産性向上　需要獲得　担い手確保　ものづくり　サービス

**ポイント**

## 日本のものづくりを熟知し、現場にぴったりと寄り添って作り上げた「日本版 IoT/M2M システム」で製造業のイノベーションを支援

○ものづくり企業の現場にマッチした日本版 IoT/M2M システムを開発
○グローバル展開を目指し、マレーシアに現地法人及びスマート工場を設立
○日本の強みに着目し、次世代のものづくりを見据えた、革新的着想

### 企業基本情報

| | |
|---|---|
| 所在地 | 神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP 東棟 606 |
| 電話 /FAX | 044-322-0400/044-322-0401 |
| URL | http://www.kmc-j.com/jp/ |
| 代表者 | 代表取締役 佐藤　声喜 |
| 設立 | 2010 年 |
| 資本金 | 2,700 万円 |
| 従業員数 | 21 人 |

## 会社概要

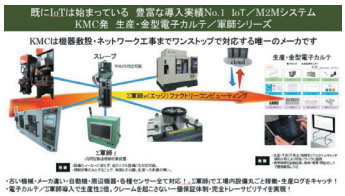
工場向け IoT 関連システムの提供を行い、国内外大手製造メーカーに対し、多数導入実績がある。成形やプレスなどの加工機械のショットごとの荷重や振動などのデータを収集できる自社製品「Σ（シグマ）軍師 i」と、その製造データをクラウドに集約し、製造の QCDP（生産）を分析･評価する電子カルテを提供している。特に、人件費上昇で生産効率化が課題となっている東南アジア市場に着目し、マレーシアに子会社を設立。さらに中国、ベトナム、タイ等へ展開し、需要獲得を目指す。

会社イメージ

## 革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

### 日本版 IoT/M2M システムを開発

ものづくり企業の現場では古くから使っている加工機が多く、メーカーも様々あり、それらからも稼動情報を取得できる M2M システム「Σ（シグマ）軍師 i」と、4M 情報をリアルタイムに一元管理する IoT システム「電子カルテ」を開発。ものづくり企業の重要資産である金型を適正管理し、20 年間耐え得る QR 銘板も開発した。製造現場の課題を抽出して開発した商品やシステムは知的財産化している。システムの導入効果を最大化させるため、現場に入り、サポート、技術コンサルティングサービスも提供。



KMC の IoT 製品

### グローバル展開を目指し、マレーシアに現地法人と工場を設立

人件費上昇で生産性の向上が課題となっている東南アジア市場で、装置導入・保守サポートの拠点としてマレーシアに子会社を設立。現地日系メーカーの工場に対し「Σ軍師」を提供。今後、中国、ベトナム、タイなどへ展開。現地サプライヤーへの IoT 支援と、マラッカ次世代のスマート工場群を一括データ管理巨大センター「SIC」にて、M-Karte & M2M システムで企業群をサポート。ASEAN 全域をカバー経済情報誌 NNA やマレーシア国内主要新聞、TV でも大々的に報道された。

マレーシアのスマートインダストリアルセンター

### 次世代のものづくりを見据えた、革新的着想

社長は、KMC の創業以前から世界に先駆けて日本型の製造 IoT システムに特化し、ブレることなく技術を培ってきた。

実際、現在のインダストリー 4.0 が各国でアプローチが異なっているが、ドイツのトップダウン型に対し、米国はビッグデータを活用した新たなビジネスモデルの創出を目論んでいる。KMC では日本の強みである現場のノウハウを活かしたボトムアップ型の日本版 IoT/M2M システムを提唱、実践している。

新聞報道